

Social Business Project

主催 未来の大人応援プロジェクト実行委員会
パンフレット制作 株式会社アイブレン

SBP交流フェアの詳しい情報はホームページをご覧ください。
<https://mirai-otona.jp> 「未来の大人」で検索

\ follow me!! /

YouTube
未来の大人応援
プロジェクト



LINE
公式アカウント
@miraiotona



Instagram
@mirai_otona



Find us on
@mirai.no.otona.sbp



第8回 全国高校生 SBP Social Business Project 交流フェア

～学生の学生による学生のための祭典～

高校生の“伸びしろ”は、
そのまま日本の“伸びしろ”だ！

プログラム1

SBP アワード本選 (チャレンジ・プレミア)

2023 7月29日(土)・30日(日) オンライン

プログラム2

SBP アワード決勝、実践発表交流会、ワークショップ、表彰式

2023 8月19日(土)・20日(日) 会場 皇學館大学

プログラム3

SBP プレミアステージ (SBP モデル事例発表)

2023 9月9日(土) 会場 ハリウッド美容専門学校





未来の大人と未来を創る！

「第8回全国高校生SBP交流フェア」開催に当たり、主催者を代表しご挨拶申し上げます。
本フェアは、全国でSBP活動を行う高校生を中心とした団体が、それぞれの取り組みを通して交流・研鑽を図ることを目的とし、2013年より毎年1回実施してまいりました。

当初は、社会的な必要性、継続性、運営する財源の確保などの課題があり、最初の3年間は開催の意義を問いながら“高校生レストランのまち”として有名な三重県多気町を会場に「全国高校生“S”の交流フェア」をスタートさせました。

その結果、想定を超える多くの方々からの支持を受け、2016年から「第1回全国高校生SBP交流フェア」として舞台を三重県伊勢市に移し、より多くの地域で“未来の大人たち”を応援する仕組みを作ろうと新たなスタートを切りました。過去には、新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催もありましたが、前回より、皇學館大学のご理解・ご支援により3年ぶりに全国から本当に多くの高校生たちが伊勢の地に集結し、交流をおこなうことができました。

そして嬉しいことに、文部科学省をはじめとする多くの行政や団体のご後援に加え、企業の皆さまの多大なご協力により、今回も第8回として開催する運びとなりました。参加される高校や関係者が増え、年々賑やかになってきておりますが、今回もきっと素晴らしい大会になると確信しています。

本フェアは、企画・進行・運営を三重県の相可高校生産経済科&食物調理科・南伊勢高校・松阪商業高校・伊勢工業高校・三重高校・津田学園高校の高校生達が担当しています。さらにその高校生達を、皇學館大学の学生達が裏方で支えるという“生徒や学生主体のフェア”です。また今年から、これまでに文部科学大臣賞を受賞した団体が発表するプレミア部門を設け、さらに別途プレミアステージとしてSBPの代表的な取組を9月に東京で発表することになりました。

『高校生の“伸びしろ”は、そのまま日本の“伸びしろ”だ！』という言葉に胸に、私たちは地域を守り育てる“未来の大人である若者たち”を、全員全力で温かく育んでいきたいと考えています。

最後に、このフェアの開催に当たりご協力、ご尽力を賜りました多くのカッコいい大人たちに感謝の意をささげ、今後とも“未来の大人たち”を応援し続けていくことを宣言いたします。

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川政之

SBPとは

SBPは「Social Business Project (ソーシャルビジネスプロジェクト)」の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組みです。具体的には高校生が地域資源(ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等)と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、そしてその取組を地域で応援し支えていこうというものです。



SBPは、三重県多気町にある相可高等学校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。この地域に根ざした取り組みが全国に広がっており、全国高校生SBP交流フェアにもこれまでに100近くの団体や高校が参加しています。

主催

一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 「未来の大人応援プロジェクト実行委員会」

委員長	岸川 政之	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 代表理事 皇學館大学現代日本社会学部 教授 百五銀行 公務部 シニアアドバイザー
委員	中野 拓治	琉球大学農学部 客員教授
委員	新田 均	皇學館大学現代日本社会学部 教授
委員	浅沼 千恵	三重県立相可高等学校 校長
委員	杉谷 悟	三重県立南伊勢高等学校 校長
委員	西根 正子	三重県立松阪商業高等学校 校長
委員	山北 正也	三重県教育委員会高校教育課 課長
委員	山岡 茂治	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 副代表

後援

文部科学省、内閣府(地方創生推進事務局)、総務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、観光庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、南伊勢町、度会町、皇學館大学、伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、伊勢度会会ロータリークラブ、南伊勢町商工会、三重ニュービジネス協議会

協力

株式会社アイブレン、株式会社赤福、アドビ株式会社、株式会社アンシャンテ、NT GROUP、株式会社グラノ24K、コスモピア株式会社、公益財団法人修養団、チューリッヒ保険会社、国立大学法人東京学芸大学、特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハピたの、鳴海製陶株式会社、NEXCO 中日本サービス株式会社、BS よしもと株式会社、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、株式会社フォーバル、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、合同会社プレシャスコネクション、株式会社ベネッセコーポレーション、三井化学株式会社、みらいこ株式会社、有限会社わらしべ 他

広報

マスコミ(TV、新聞等)への報道発表やフェア当日の取材依頼等に加えて、文部科学省のメールマガジン等への掲載などによる広報を実施

記録

佐藤 創(映像・アニメーションスタジオイエンスの塔 代表)、堀田 賢治、小野田 円香(株式会社スタジオゼロ)

企画・運営スタッフ

- 一般社団法人未来の大人応援プロジェクト
岸川 政之、北川 清生、江角 悠太、太田 憲明、松浦 茂之、榎木 隆彦、高橋 貴博、吉田 拓未、阪井 宣行、南 直好、大原 颯太、早川 明宏、岩脇 幸哉、山口 隼人、西村 重哉、中村 武弘、村林 新吾、山岡 茂治、中沢 仁、岸川 晃大、岩城 裕子
- 三重県立相可高等学校 生産経済科
梅田 紗凧、卯辰 晴菜、今西 菜樹、内山 菜那、谷口 結桜、森 恋雪、青田 理瑚、太田 風咲、西村 美咲、宮崎 咲妃
- 三重県立南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP
山本 楓真、荒木 逸征、國分 陽向、清水 逸希、山中 康生、加藤 愛梨、中瀬 葵、中村 優月、西村 百々花、松下 楓香
- 三重県立松阪商業高等学校 松阪商業 SBP
濱口 実、安部 琴美、辻田 紗染、林 優菜、河合 優奈、市野 愛果、久保 泰成、中谷 敬心、中村 和輝、村田 然
- 三重県立伊勢工業高等学校 美術部 SBP 班
西河 玲人、木下 陽路登、瀬田 琴音
- 学校法人三重高等学校 石川 恵雅
- 学校法人津田学園 津田学園高等学校
関本 あゆ、守屋 琴葉、横山 佑加
- 皇學館大学 大学生 SBP 研究部会
林 一孝、森 知帆里、岩田 一希、中保 敦詞、西口 颯真、上村 駿介、三好 ともる、山川 流樹、山田 泰資、市川 峻輔、登 唯翔、館 祐斗、野崎 晴瑠、三宅 瑠美奈、川島 秀之、中川 脩斗、山岡 美由、高山 愛琉、立花 悠人、辻 雄輝
- 皇學館大学 学生スタッフ
角谷 透哉、伊藤 史翔、河野 美玖、高尾 萌々香、長谷川 航大、村上 恵一、浅野 了、荒木 颯太、大塚 貴太、北川 将成、杉田 剛章、河野 柊人、澤原 啓子、飛岡 璃心、土井 康平、中野 秀太、山口 桃果



第8回 全国高校生SBP交流フェア

～学生の学生による学生のための祭典～

プログラム 1
SBP アワード本選 (チャレンジ・プレミア)
2023 7月29日(土)・30日(日)

プログラム 2
SBP アワード決勝、実践発表交流会、ワークショップ、表彰式
2023 8月19日(土)・20日(日)

プログラム 3
SBP プレミアステージ
2023 9月9日(土)

全国の高校生が地域の課題を解決するためにビジネスの手法等を学びながら“取り組んだことを発表”し、“開発した商品を紹介・販売”しながら交流し、互いに評価しながら向上していくことを目的に行う交流事業です。

当行事に参加した高校生らが更に郷土愛を育み、更に地域を盛り上げる活動を展開するきっかけになるとともに、SBPに取り組みたいと考えている方々に希望をもってもらえる祭典・交流フェアになるよう企画しています。

※SBPの“S”には、英語で「Social」「School」「Student」「Smile」「Sun」「Super」「Soul」「Sustainable」「Seed」「Sweets」「Special」「Surprise」など、未来に続く素晴らしい言葉があります。

『全国高校生SBP交流フェア』(オンラインと対面での開催)

SBP アワード

実践発表交流会

ワークショップ

主催：未来の大人応援プロジェクト実行委員会

三重県内の高校生(相可高校、南伊勢高校、松阪商業高校、伊勢工業高校、三重高校、津田学園高校)と皇學館大学の学生スタッフが本フェアの企画・運営を行い、企業・行政などの各種団体が支援していきます。

後援 協力

産・官・学・金・言 (産業界・行政・学校・金融・マスコミ)

色々な取り組みを進める高校生同士が集まり、交流を深めて視野を広げます。地域における貢献度など、互いを評価して進化していくことを目的にしており、商品や取組の完成度等を評価します。

取組発表について 予選(書類審査) → 本選 → 決勝

チャレンジ部門では事前の書類審査を通過した最大24団体が本選に出場し、プレミア部門では文部科学大臣賞を受賞した団体が本選に出場します。それぞれオンラインでプレゼンテーション・質疑応答を行い、その中から決勝に参加するチャレンジ部門6団体とプレミア部門1団体が選ばれます。

成績評価について 『文部科学大臣賞』『三重県知事賞』『審査員特別賞』

チャレンジ部門では全参加団体に対し「極」(90点以上)、「輝」(75点以上)、「雅」(50点以上)の評価を行います。決勝では選ばれた6団体から、最も評価が高かった団体に「文部科学大臣賞」、次点に「三重県知事賞」を授与します。プレミア部門では、さらに継続した高い取り組みとして「金」、「銀」、「銅」の評価を行います。また、両部門で審査員全体での「審査員特別賞」を授与する場合があります。

各特別賞について 審査員・協賛企業がそれぞれ1団体を選出

SBPアワードに参加したすべての団体から、それぞれの基準・観点で選ばれた団体に次表の各賞を授与します。賞の選定は協力いただいた各企業等の基準・観点によるものとします。

SBP
アワード

チャレンジ部門

プレミア部門



SBP アワード チャレンジ部門 審査委員 SBP アワード チャレンジ部門 本選および決勝の審査をおこないます。

No	氏名	所属等	特別賞
1	梅澤 孝史	株式会社百五銀行 公務部 課長	百五銀行賞
2	角田 陽一郎	バラエティプロデューサー (元TBS番組プロデューサー)	角田陽一郎賞
3	小村 俊平 新岡 侑也	株式会社ベネッセホールディングス 経営企画推進本部 副本部長/ ベネッセ教育総合研究所 教育イノベーションセンター長 株式会社ベネッセコーポレーション 学校カンパニー 東日本教育支援推進部	ベネッセ賞
4	小役丸 秀一	株式会社グラノ 24K 代表取締役	ぶどうの樹賞
5	多田 祐美	三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループリーダー	三井化学賞
6	鉄矢 悦朗	国立大学法人東京学芸大学 教授	東京学芸大学賞
7	徳野 貞雄	トクノスクール・農村研究所 代表理事/熊本大学 名誉教授	徳野賞
8	中沢 洋子	特定非営利活動法人十和田NPO子どもセンター・ハビタの 代表理事	ハビタの賞
9	西山 正一	アドビ株式会社 CDO (最高デジタル責任者)	アドビ賞
10	新田 均	学校法人皇學館大学 現代日本社会学部 教授	皇學館大学賞
11	山北 正也 谷奥 茂	三重県教育委員会 高校教育課 課長 (未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員) 三重県教育委員会 高校教育課	-
12	藻谷 浩介	株式会社日本総合研究所 主席研究員	藻谷賞
13	大学生 SBP 研究部会	学校法人皇學館大学 大学生SBP研究部会 松井 輪昇 (文学部2年)、森川 堅心 (教育学部2年)、 小筆 薫 (現代日本社会学部1年)	大学生 SBP 賞

※敬称略、50音順

特別賞審査員 参加団体の取り組みを各所属企業などの独自の基準に基づき評価をします。

No	氏名	所属等	特別賞
1	泉 正隆 高橋 真	BSよしもと株式会社 代表取締役副社長 BSよしもと株式会社 地域推進・事業局 局長	BSよしもと賞
2	上村 久仁	三重県会郡南伊勢町 町長	SBP 特別賞 (南伊勢町長賞)
3	大隈 富士夫	株式会社フォーバル 上席常務執行役員 F-Japan本部長	フォーバル賞
4	太田 裕二	みらいこ株式会社 取締役	みらいこ賞
5	亀尾 麻希	株式会社アイブレーン 取締役	アイブレーン賞
6	海住 禎人	株式会社百五総合研究所 代表取締役社長	百五総研賞
7	小島 邦彦	NEXCO中日本サービス株式会社 取締役 総務企画部長	NEXCO中日本サービス賞
8	佐野 悠介	コスモピア株式会社 eステーション事業部 部長	コスモピア賞
9	佐藤 健	三重ナルミ株式会社 代表取締役社長	NARUMI 賞
10	佐村 英之	合同会社プレシャスコネクション CEO	プレシャスコネクション賞
11	武田 数宏	公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター 所長	SYD 賞
12	野呂 厚史	株式会社アンジャンテ 代表取締役	アンジャンテ賞
13	濱田 典保	株式会社赤福 顧問	赤福賞
14	福田 圭	有限会社わらしべ 代表取締役	たいやきわらしべ賞
15	藤井 恭子	学校法人皇學館大学 現代日本社会学部 准教授	皇學館大学 現代日本社会学部賞
16	宮本 晃	三重県伊勢市役所 産業観光部 理事	伊勢市長賞
17	皇學館大学 学生スタッフ	花井 琴音 (現代日本社会学部2年) 高崎 晃介 (同学部2年) 岩野 倅汰 (同学部2年)	皇學館大学 学生スタッフ賞

※敬称略、50音順

SBP アワード プレミア部門 審査委員 SBP アワード プレミア部門の評価をおこないます。

No	氏名	所属等	特別賞
1	荒木 康行	株式会社ちとせ 代表取締役社長/第8回全国高校生SBP交流フェア 審査委員長	未来の大人賞
2	小山 巧	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 顧問	
3	太田 憲明	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 理事	
4	植木 隆彦	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 理事	
5	阪井 宜行 吉田 拓未 岩城 裕子	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト	

※敬称略、50音順



実践発表交流会

8月19日(土) 17:30 ~ 20:00

これまでの『夜の市』をベースに、総合体育館や周辺にて高校生の様々な取り組みを発表する実践の場として開催されます。開発した商品の販売や紹介、パフォーマンスの披露など、お互いの交流を深め、刺激を受け合う場となります。



プログラム

- 16:30 ~ 17:30 準備・食事
- 17:30 ~ 開会のあいさつ
- 17:30 ~ 18:00 各高校による1分間PRタイム
- 18:00 ~ 18:45 自由時間
- 18:45 ~ 19:30 パフォーマンス (踊り)
- 19:30 ~ 19:40 閉会のあいさつ
- 19:40 ~ 片付け・解散

会場案内

- 1 メインステージ
- 2 出展ブース①~⑬
- 3 見学席 (2階)
- 4 本部・休憩所



出展団体

全14団体が出展・発表をおこないます。

●商品販売・取組出展・パフォーマンス・映像披露

出展番号	団体	出展内容
①	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部	仙臺サイダー、仙台べこタンカレー、シイタケのじく旨キーマカレーの販売
②	富山県立滑川高等学校 薬学部	「家で作ろう！クラフトコーラスパイセット」の販売
③	長野県立飯田高等学校 南信州みらい創生塾	水引細工体験
④	静岡県立島田商業高等学校 地方創生 SHIMASHO	緑茶化縁日で島田をPR
⑤	中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ	障害者支援商品、被災地支援商品の販売
⑥	三重県立相可高等学校 農業クラブ	バイオバジルオイル、まめ茶、デオドラントスプレー、コスメの販売とPR
⑦	三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ	サバローサカレーの販売
⑧	三重県立紀南高等学校 防災きにゃんプロジェクト	非常持ち出し袋「防災避にゃんセット」、紀南高校Tシャツの販売
⑨	関西インターナショナルハイスクール OtoOne (おとわん)	障害者支援商品、被災地支援商品の販売
⑩	大阪府立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト	つるりっふパン、つる美石けん、ドリッブコーヒーの販売
⑪	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	梅ぼし星、梅あられの販売
⑫	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP 部	天草拓心高校 SBP 部の取組紹介・展示
⑬	沖縄県西原町 NS²BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	万能ダレなどのオリジナル商品の販売
発表	沖縄県西原町 NS²BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	エイサー (沖縄の伝統的な演舞)
発表	三重高等学校 ダンス部 SERIOUS FLAVOR	ダンス (総勢100名を超えるダンスを披露します！)

※当日の出展内容は変更になることがあります

ワークショップ

8月20日(日) 9:00 ~ 11:30

高校生の活動を応援していただいている企業や団体、大学生らによって開催されるワークショップです。それぞれの専門性に特化した、映像・動画・SDGs・レクリエーション・ビジネスといったプロの講師によってワークショップがおこなわれます。



WS 1 「Sの絆焼きを焼いてみよう！」

提供 有限会社わらしべ 会場 倉陵会館 (学生食堂)



6秒に1枚売れているたい焼き店直伝の、美味しい焼き方・お客様への渡し方を学ぼう！型、生地、環境によって変わる焼き方。いつでも美味しいものを焼けるよう、日頃の疑問を店主にぶつけ、質問責めにしてもよし、中身を変えて新メニュー開発をするもよし。プロの焼き方、こだわりから学び、Sの絆焼きをバージョンアップさせましょう！

WS 3 「レクリエーション」

提供 皇學館大学 学生スタッフ×実行委員会事務局

会場 7号館4階 741教室



「自分自身の人生を歩いていますか？」年代や環境の異なる様々な人との出会いが多くなる高校生に、レクリエーションをきっかけとして自分自身を出し自ら動くことの大切さを学んでもらいます。様々な出会いの場で主体的にコミュニケーション範囲を広げられるようコミュニケーションに自信をつけましょう。

WS 5 「UEFNで作るフォートナイト 島づくり体験ワークショップ」

提供 株式会社アンジャンテ 会場 7号館2階 722教室



今年3月に米国エピックゲームズ社が公開した、フォートナイト専用エンジンUEFNを使った島づくりを体験してみませんか？島をつくることで、ゲーム制作とプログラミングが体験できる楽しいワークショップです！

WS 7 「防災ってなんなの？を考えるワークショップ」

提供 国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所

会場 7号館4階 743教室



よく聞く「防災」という言葉を自分自身で定義し、今すぐ行動できる意識とスキルを身につけます。防災をテーマに普段から、「自分に今できることは何か？」を明確にし、強く生きるための行動につなげていきましょう。

【大人向け】「SBPセミナー」9:30 ~ 11:00

提供 皇學館大学現代日本社会学部 教授 新田 均×(一社)未来の大人応援プロジェクト 代表 岸川政之 会場 622教室

SBPの基本的な内容から、全国の最新事例までSBPについていろいろな話をさせていただいたり、参加者の意見交換も行う予定です。生徒たちのワークショップの様子を見に行く等、出入りは自由です。

WS 2 「デザインのプロに学ぶ缶バッジ作り」

提供 株式会社アイブレン 会場 7号館1階 711教室



缶バッジ作成を通してデザインを学ぼう！当社はこれまでの全国高校生SBP交流フェアのパンフレットのデザイン・印刷を担当してきました。みなさんの活動の中で商品開発やPRなどで活用できるようなデザインのコツを伝授します！

WS 4 「SDGsをテーマにしたゲーム型のワークショップ」

提供 特定非営利活動法人津市NPOサポートセンター

会場 7号館2階 721教室



「課題のずれを楽しみながら話すゲーム形式のワークショップです。」ボードゲームなどを使い、普段何気なく扱っているものを改めてSDGsで考えてみるゲームを用意しております。

WS 6 「オンリーワンを考えてみよう&マグ作り」

提供 鳴海製陶株式会社 会場 7号館1階 712教室



NARUMI ボーンチャイナで世界で一つオンリーワンのマグカップを作るワークショップです。転写貼り体験や新製品(こんなアイテムがあったらいいな)についてディスカッションします！

WS 8 「アドビのコンサルタントが考える、プレゼン&デザインで大切なこと (Adobe Express ワークショップ)」

提供 アドビ株式会社 会場 6号館3階 631教室



自分のやりたいことを実現するためには、他の誰かに「なぜそのアイデアが良いのか？」を理解してもらい、メンバーに協力してもらう必要があります。日々プレゼンテーションに臨むアドビのコンサルタントが、プレゼン&デザインで大切にしていることをお伝えします。ぜひ、これからの人生のあらゆる局面で活かしていきましょう。

プログラム1 SBP アワード本選 (チャレンジ部門・プレミア部門)

SBP アワード本選に出場する参加団体が、チャレンジ部門のA・B・Cの3つのグループとプレミア部門に分かれ、オンラインで取り組みを発表します。発表の様子はYoutubeのライブ配信にて視聴できます。

7月29日(土) チャレンジ部門 グループA / チャレンジ部門 グループB

A: 9:00 ~ B: 13:00 ~	プログラム1 開会式 ○発表団体は時間までに「SBP アワード本選会場」に入室する ○挨拶・審査委員・発表団体紹介・ルール説明など	
A: 9:30 ~ B: 13:30 ~	SBP アワード本選 チャレンジ部門 発表 ○参加団体の発表者が順番に発表を行う (5分) ○各発表が終わり次第、審査委員の質疑応答を実施 (5分)	
A: 12:00 ~ B: 16:00 ~	プログラム1 閉会式 ○講評 (各グループの審査代表) Aグループ…三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 グループリーダー 多田 祐美 Bグループ…皇學館大学 現代日本社会学部 教授 新田 均	

7月30日(日) チャレンジ部門 グループC / プレミア部門 グループP

C: 9:00 ~ P: 13:30 ~	プログラム1 開会式 ○発表団体は時間までに「SBP アワード本選会場」に入室する ○挨拶・審査委員・発表団体紹介・ルール説明など
C: 9:30 ~ P: 14:00 ~	SBP アワード本選 チャレンジ部門 発表 ○参加団体の発表者が順番に発表を行う (5分) ○各発表が終わり次第、審査委員の質疑応答を実施 (5分)
C: 11:30 ~ P: 15:30 ~	プログラム1 閉会式 ○講評 (各グループの審査代表) Cグループ…株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介 Pグループ…株式会社ちとせ 代表取締役社長 荒木 康行

結果発表および講評 8月6日(日) 10:00 よりオンラインにて実施します。チャレンジ部門のA・B・Cの各グループから2団体ずつ、プレミア部門から1団体 合計7団体が選出され、選ばれた団体は決勝にて発表をおこないます。

プログラム2 SBP アワード決勝 (チャレンジ部門・プレミア部門)・実践発表交流会・ワークショップ・表彰式

8月19日(土) SBP アワード決勝、実践発表交流会

SBP アワードの決勝(皇學館大学の講堂にて取組発表)をおこないます。その後、「実践発表交流会」の中で参加団体の取組(商品の販売や作品発表)を発表しながら交流をおこないます。

12:00 ~	受付開始 [会場] 皇學館大学 記念講堂入り口 (ロビー) ○宇治山田駅からバスを用意 (公共交通機関利用時) 11:00、11:30、12:00 を予定 ○検温・消毒をおこない、受付終了後、荷物を預け、記念講堂に移動 ○すべての荷物に荷札を付ける 青の荷札: 修養団へ配送 (バスに積み込む)、白の荷札: 配送無し (ロビーの指定場所へ)
12:45 ~	フェア成功祈願祭 (皇學館大学 祭事研究部) [会場] 記念講堂
13:00 ~	プログラム2 開会式 [会場] 記念講堂 ○主催者代表挨拶 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川政之 ○後援団体代表挨拶 皇學館大学 学長 河野 訓 ○審査委員紹介・運営スタッフ紹介、予定説明、諸連絡など
13:30 ~	SBP アワード決勝 (発表 10分、質疑応答 10分) [会場] 記念講堂 ○開会挨拶 文部科学省 総合教育政策局地域学習推進課 課長 黄地吉隆 ○チャレンジ部門決勝進出の6団体が発表をおこなう (エントリー団体総数: 22 団体内) ○プレミア部門選出の1団体がSBPのモデルとして発表をおこなう (エントリー団体総数: 4 団体内)
16:30 ~	SBP アワード決勝終了・実践販売交流会準備 ○倉慶会館 (学生食堂) にて早めの夕食 ○総合体育館へ移動し準備をおこなう ○審査員は 631 教室にてSBPアワードの審査を行い、終わり次第実践発表交流会へ合流

17:30 ~	実践発表交流会 [会場] 総合体育館 ○高校生が司会進行を行い、各団体の1分間PRやダンス・映像による実践発表を披露する ○各団体のブース(取組発表、販売など)を設け自由に交流を行う
19:40 ~	実践発表交流会終了 (プログラム2 初日終了) ○片付け・解散、(公財) 修養団伊勢青少年研修センターや各団体が予約した宿泊施設に移動 ○(公財) 修養団伊勢青少年研修センターへのバスの時間: 20:00、20:30

8月20日(日) ワークショップ・SBPセミナー、結果発表・表彰式

協賛企業や団体が高校生のためにワークショップをおこないます。また大人のための交流・セミナーを同時開催します。昼食には相可高校食物調理科のお弁当をいただき、その後SBPアワードを含めた結果発表・表彰式、審査員や大人との交流をおこないます。

6:30 ~	起床 ※ (公財) 修養団伊勢青少年研修センター宿泊者の場合 ○朝食 (6:30 ~ 7:30)、準備ができ次第、宿泊施設を出発 バスの時間: 7:30、8:00 ○到着後、前日と同じ場所に荷物を置き、倉慶会館 (学生食堂) または7号館へ移動
9:00 ~	ワークショップ・SBPセミナー ○事前に登録した8つのワークショップ (9:00 ~)、SBP セミナー (9:30 ~) の会場に集合 ○引率・審査員・関係者など大人の関係者はSBP セミナーに参加 (出入自由)
11:30 ~	昼食 [会場] 倉慶会館 (学生食堂) ○ワークショップ終了後、学生食堂へ移動 ○高校生レストランで活躍する相可高校食物調理科によるお弁当
13:00 ~	結果発表・表彰式 [会場] 記念講堂 ① SBP アワード・審査員特別賞表彰 ○SBPアワードチャレンジ部門「極」「雅」、プレミア部門「金」「銀」「銅」の表彰をおこなう ○特別賞の審査員からそれぞれの特別賞の講評・表彰をおこなう
14:30 ~	② 審査員交流 [会場] 倉慶会館 (学生食堂) ほか ○審査員特別賞を授与した審査員と受賞団体がそれぞれ交流をおこなう ○その他の参加団体については大学生や審査員、関係者との交流をおこなう
15:10 ~	③ 文部科学大臣賞・三重県知事賞・審査員特別賞表彰 ○SBPアワード決勝の団体から、文部科学大臣賞、三重県知事賞、審査員特別賞の発表・講評・表彰をおこなう ○プログラム3「SBPプレミアステージ」へ出場する団体の発表をおこなう
15:30 ~	プログラム2 閉会式 ○未来の大人応援プロジェクト実行委員会 高校生委員長 今西 菜樹 ○閉会の辞 未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川 政之 ○閉会式後、記念撮影
16:00 ~	解散 (プログラム2 終了) ○必要な団体にはバスにて駅まで送迎を実施。 バスの時間: 16:00、16:30



プログラム3 SBP プレミアステージ

第8回SBP交流フェアにて文部科学大臣賞を受賞した1団体、SBPアワードのプレミア部門から1団体、実行委員会推薦として1団体の合計3団体が東京六本木にてSBPのモデルとなる取り組みを発表します。

9月9日(土) SBP プレミアステージ

13:00 ~	プログラム3 開会式 [会場] ハリウッド美容専門学校 ○主催者代表挨拶、来賓紹介、発表団体の紹介
13:30 ~	プレミアステージ発表 (発表 10分、質疑応答 10分) ○選出された3団体がSBPのモデルとなる取り組みを発表する
15:00 ~	講評・交流 ○講評 第8回SBP交流フェア 審査委員長 荒木 康行 (株式会社ちとせ 代表取締役社長) ○参加団体との交流 (後援協賛団体・関係者・審査委員ほか)
16:00 ~	プログラム3 閉会式 ○閉会挨拶、記念撮影

参加校 一覧

日本全国から 多くの高校生たちが参加!!



●…交流会出展

	ブロック	参加団体・高等学校名	SBP アワード	実践 発表交流会
1	北海道・東北	五所川原第一高等学校 五一高じゃわめき隊	A-3	
2	北海道・東北	青森県立鱒ヶ沢高等学校 鱒ヶ沢高校 SBP研究会	C-6	
3	北海道・東北	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部	C-1	●
4	北海道・東北	福島県立小名浜海星高等学校 商業部	C-4	
5	関東	明星高等学校 明星 MHT	A-1	
6	中部	富山県立滑川高等学校 薬学部	B-6	●
7	中部	福井県立若狭高等学校 小浜未来構想学生グループ	B-1	
8	中部	長野県立飯田高等学校 南信州みらい創生塾		●
9	中部	静岡県立島田商業高等学校 地方創生 SHIMASHO	C-2	●
10	中部	浜松学芸高等学校 社会科学部地域調査班・地域創造コース	P-2	
11	中部	中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ	P-1	●
12	中部	愛知県立高浜高等学校 地域活動部 SBP班	P-4	
13	近畿	三重県立あけぼの学園高等学校 スポーツレクリエーション	C-8	
14	近畿	三重高等学校 ダンス部 SERIOUS FLAVOR	C-3	●
15	近畿	三重県立松阪商業高等学校 松阪商業高校 SBP	A-5	
16	近畿	三重県立相可高等学校 農業クラブ	A-4	●
17	近畿	三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ		●
18	近畿	三重県立紀南高等学校 防災きにゃんプロジェクト	B-7	●
19	近畿	京都府立海洋高等学校 食品経済コース	A-2	●
20	近畿	大阪府立鶴見商業高等学校 地域連携プロジェクト	B-2	●
21	近畿	関西インターナショナルハイスクール OtoOne (関西外語専門学校 高等課程)	A-6	●
22	近畿	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	C-7	●
23	中国・四国	愛媛県松野町 一般社団法人マツノイズムプロジェクト (愛媛県立宇和島東高等学校、北宇和高等学校、宇和島水産高等学校)	B-4	
24	九州・沖縄	佐賀県立伊万里実業高等学校 フードプロジェクト部	A-7	
25	九州・沖縄	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP部	P-3	●
26	九州・沖縄	沖縄県西原町 NS ² BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	B-3	●
27	九州・沖縄	沖縄県立宮古総合実業高等学校 地域活性化 SHARKプロジェクト	B-5	
28	コラボレーション	青森中央高校・浜松学芸高校 合同チーム 学校紹介動画制作プロジェクト (青森県立青森中央高等学校 あすなるクラブ、浜松学芸高等学校)	C-5	

オープン参加団体

- 29. 青森県立青森中央高等学校 あすなるクラブ
- 30. 皇學館高等学校 SBP班
- 31. 津田学園高等学校 高校生みえ創造サミット 2022チーム
- 32. 三重県立昂学園高等学校 昂学園 SBP
- 33. 三重県立伊勢工業高等学校 美術部 SBP班
- 34. 三重県立南伊勢高等学校 度会校舎
- 35. 三重県立南伊勢高等学校 南勢校舎
- 36. 佐賀清和高等学校 文化教養科 SBP
- 37. 熊本県立牛深高等学校 Team・UHS



五所川原第一高等学校

五一高じゃわめき隊

メバ焼き復活プロジェクト



私たちは、高校の部活動ではなく有志メンバーが集まって活動している団体です。地域を学びの場として私たちがやりたい活動を自分自身で考え実行することで、ヒト・モノ・コトに関わることができると考えています。そのことによって地域貢献や自己理解を深めることができると思います。これまで地域の企業とコラボしたおやきを考え商品化に成功しました。

今では「毎月15日は一高の日」ということで月に一度お店で販売しています。今年度は中里高校 SBP 同好会が作っていた「中泊はメバ焼き」を町外から応援する活動を考えています。メバルの水揚げ県内一を誇る中泊町をさらにPRするとともに観光の活性化を行いたいと思います。

また、SBP 活動以外にも地域の団体と連携して多数の活動を行っています。より地域に密着しながら高校生や大学生が地域に関わることができる仕組みづくりや地元の高校生が集まって交流等を深める活動も継続的に行うことで関係人口創出を図っていききたいと思います。



仙台市立仙台商業高等学校

商業情報部

NEver Give up ~ NEGI に価値を、みんなに笑顔を~



私たちが通う仙台市立仙台商業高等学校は、男子校である仙台商業高等学校と女子高である仙女子商業高等学校が統合し、今年で15年目になります。私たち商業情報部は、地元への地域貢献を目指して、地元の企業と協力し、商品開発や新たなビジネスの形を考案する活動をしています。また、販売実習やボランティア活動などにも積極的に取り組んでいます。

今年は食品ロス削減に視点を置いて「もったいない」を調査し、廃棄されていたネギの葉と規格外のネギを発見しました。そして私たちはもったいないネギを活用しようと思い、家族団楽のきっかけとなるたれの商品開発をヤマカノ醸造株式会社と共同で行っています。

その他にも、もったいないネギの価値の創出やフードバンク活動の支援、家庭系食品ロスのさらなる削減などの課題に真摯に取り組んでいき、精一杯尽力させていただきます。よろしくお願いします！



青森県立鱒ヶ沢高等学校

鱒ヶ沢高校 SBP研究会

つなげよう 絆と力で ^{とわ} 永久の栄えを



鱒ヶ沢高校は今年度創立80周年を迎えます。私たち鱒ヶ沢高校 SBP 研究会は、今年で活動8年目となりました。現在の部員は10名で結成当時の合言葉「鱒ヶ沢町をPRする」を受け継ぎ、活動しています。

これまで、「0歳からのSBP」、「地域活性化マン戦隊ショー」、セレクトギフト「鱒の味」製作、「力士くんおやき」販売、静岡県浜松学芸中高等学校と協働した「胸キュンプロジェクト」など様々な取り組みをしてきました。

今年度は、地元の企業さんとのコラボを計画して進めているところです。多くの方々へ支援をしていただきながら、ここまで活動を継続することができています。感謝の気持ちを忘れず、失敗を恐れずに鱒ヶ沢町の活性化を目指してどんどんチャレンジしていきたいと思っています。

SBPの交流を通じて、たくさんの方のことを学びたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



福島県立小名浜海星高等学校

商業部

ふくしまソーシャルビジネスプロジェクト (SBP) ~小名浜から元気を全国へ発信~



福島県いわき市小名浜地区の高校として、令和3年4月に2つの高校（小名浜・いわき海星）が統合されました。私たち3年生は1期生として活動しています。東日本大震災では、小名浜地区も津波で甚大な被害を受けましたが、復興は少しずつ進んでいます。

しかし、今なお復興が遅れている地域（福島県双葉郡）が近隣にあります。帰還した農家さんの高齢化や震災時の記憶の風化が大きな問題となっています。

私たちは震災後に高校生が開発した商品の販売や、農家さんや地元団体との交流を行っています。また、子供世代との接点として地元果実を使った“わたあめ”の実演販売を行っています。より多くの方へ活動を広げるために、昨年度は地元間伐材を使った商品開発や、オーガニックコットンの種植えから収穫を地元の方と交流しながら行いました。今は自分たちの学校でもコットンを育てています。自分達だけでなく、周りも元気にすることで、日本や世界を元気にすることにつながると信じ、ソーシャルビジネスに取り組んでいます。



明星高等学校

明星 MHT

フェアトレードで街とつながる

明星高校は、本年度創立 100 周年を迎える歴史ある学校です。SBP 交流フェアには初参加です。

私たち明星高校本科一年生は、約 300 名全員で取り組む「総合的な探究の時間」の一環で、学校のある国分寺と府中に絡めた地域研究＝「国・府学」に絡めた街おこしに取り組んでいます。学校全体では、3 年前から SDGs を推進した取り組みを展開しています。

具体的には、史跡あふれる両市にちなんだ「ドキ土器ソフトクリーム」の商品開発や、地域のブランド野菜＝「こくベジ」の地産地消を考えたり、地元カフェにフェアトレード商品の販売や導入を提案したカフェマップ＝「CafeKokufu」の制作、インドネシア発祥の健康食品「テンペ」の販売促進などを進めています。

将来的には、学校がある府中市と隣市の国分寺市が「フェアトレードタウン」として有名になり、関係人口の増加、ひいては地元の産業が活性化するために高校生としてできることをやり始めたところです。

100 周年というピンテーゼな学校の、フレッシュな取り組みを、どうぞよろしくお願いいたします。



福井県立若狭高等学校

小浜未来構想学生グループ

地域と学生を繋ぐ！ E-space project！

こんにちは！小浜未来構想学生グループです。

私たちの活動は今年で3年目になり、「地域の方々との繋がりが、地域課題を解決して小浜市をもっとあたたかく住みやすいまちにしたい」という思いをもつ学生が集まって活動しています。

これまでの活動として、食のまち小浜でコロナウイルス禍の飲食店の課題を解決するための活動を行い、そこからコロナ禍の地域の飲食店にお客さんを呼び込み、尚且つ学生の学習場所を確保するアイデアとして E-space Project が生まれました。

昨年度は一昨年に作成した公式ホームページをより充実したものにし、店舗にかけていただくフラッグの作成を行いました。

今年度は E-space をより多くの人に知ってもらい、学生が利用しやすくなるようなくみをつくれるようにショップカードや利用を示すプレートの作成などを行いました。

今後も地域の繋がりを大切に、地域づくりに貢献していきます！



富山県立滑川高等学校

薬学部

クラフトコーラで心も身体もリフレッシュ!!



クラフトコーラとは、スパイスやハーブなどを使用した、手作りのコーラのことです。

クラフトコーラの「クラフト」には技術、手芸などの意味があり、明確な定義はありませんが、「手作り」や「職人が丁寧に作る」といったコーラがクラフトコーラと呼ばれています。先ほど述べた通り、クラフトコーラはスパイスやハーブ、柑橘類などを使用しています。

店ごとにこだわりがあり、材料や分量が異なることで味が全く違ってするのが面白い要素です。スパイスやハーブは香りとしての役割以外にも漢方薬の素材として使われるものが多く、それを使ったクラフトコーラは健康的といえるのです。

そんなクラフトコーラは最近の健康志向の高まりや、材料が手に入れやすく自宅でも簡単に手作りできることから、今とってもブームなんです!!

交流フェアでぜひ、滑川高校薬学部特製のクラフトコーラをお楽しみください。

静岡県立島田商業高等学校

地方創生 SHIMASHO

10 年後への種まき
高校生の若さとアイデアで住み続けるまちづくりを目指す!



志太・榛原地区の商業教育の拠点校として、身近な課題を発見し、解決に向けて主体的にチャレンジする教育活動を通じて、地域社会で活躍できる生徒の育成を目指しています。

「地方創生 SHIMASHO」班では、地域の伝統芸能でもあるお祭りやイベントを通じて、島田を若者の力で元気にしようと考え取り組んでおります。

主な取り組みとして、地域イベントにおける企画・運営からの参加、被災地の訪問及び復興支援商品の仕入販売などを行っています。

5月27日(土)・28日(日)に蓬萊橋で行われた「ほんぼり祭り」では、実行委員会の方を講師に招いて、蓬萊橋の歴史、ほんぼり祭りの由来を学ぶなど、事前学習、蓬萊橋視察を経て、お祭りに向けたほんぼりの製作や PR、当日の運営補助を行いました。

この経験をもとに、秋に「竹あかりプロジェクト・高校生による竹の縁日」を開催し、イベントリピーターや来訪者の促しなど、私たちも「蓬萊橋」を後世に残すための活動を創めています。

商業で学んだ知識を活かし、高校生の発想で地方創生に繋げようとする様々な活動をしております。



浜松学芸高等学校

社会科学部地域調査班・地域創造コース

私たちアイドル初めました！

浜松学芸高校社会科学部地域調査班は、地域の魅力を発信する活動に取り組んでいます。

私たちは自分たちの地域でしかできない活動ではなくて、どんな学校でも実施できるようなプロジェクトを行い、どんどん取り入れて地域の魅力発信に取り組んでもらいたいと考えています。

感染症の拡大で私たちの活動の多くがストップしてしまいました。だからこそ、私たちは様々なプロジェクトを並列化して取り組むことで、活動がストップしてしまうリスクを避けています。

そんな様々なプロジェクトを実行していく中で、メンバーがもつ力を集結して立ち上げたのが浴衣アイドル「Tint2」です。アイドルと地域の融合は、様々なイベントで地域の皆様に楽しんでいただいています。

2年間温めてきた私たちのアイドル活動の秘密！今回は皆さんに公開していきます。



愛知県立高浜高等学校

地域活動部 SBP 班

Sの絆！みんなで笑顔！

高浜高校地域活動部 SBP 班は、「Sの絆焼き型」の制作・販売に取り組んでいます。

「Sの絆焼き」とは、高浜市のものづくり技術を組み合わせて製作するオリジナルデザインが可能なたい焼き用の金型で、お客様からいただいたデザインを瓦職人（鬼師）が立体的な形にして、自動車部品工場がアルミを削り出し製作します。今年度も2件の依頼をいただき、現在、製作中です。

また、B.LEAGUEのシーホース三河さんと協力して、「タツヲ焼き」の販売を行い、その収益で子どもたちを試合に招待したり、子ども食堂にタツヲ焼きを提供したりするプロジェクトにも取り組んでいます。

「タツヲ焼き」を販売しているとお客様から声を掛けていただいたり、SNSなどで応援のお言葉をいただいたりすることもあり、とても励みになっています。

B to B から B to C まで「Sの絆焼き」を通して、たくさんの方々と一緒に笑顔になることを目指しています。



中部大学春日丘高等学校

インターアクトクラブ

買って支援につなぐっずパラクティブツアー

私達は目の前の人を笑顔に！をモットーに様々な活動を行っています。障害者施設や高齢者施設にて手遊びや体遊び、地元のお祭りでダンスパフォーマンス、中でも近年力を入れているのが無料塾「みんなのひみつきち」です。高校生が講師となつて行う授業や、工作教室や料理教室などの特別教室を通して、子供達の発想力や主体性を伸ばすお手伝いをしています。その中で塾の維持費や子ども達の文房具費などの経費が必要となりました。そこでそれを集めるために始まった取り組みが「買って支援につなぐっず」です。

文部科学大臣賞受賞後は、メディアに数多く取り上げていただいたことで、つなぐっず登録店舗が増加しました。またつなぐっず事業拡大に伴って、愛知県初の高校生 NPO 法人を設立しました。それだけではなく、受賞をきっかけにネクスコ中日本サービスさんにお声がけをいただいて、共同プロジェクト「パラクティブツアー」を実施しました。実際に4月に第一回パラクティブツアー in 白川村を行い、11月に第二回の実施を計画しています。



三重県立あけぼの学園高等学校

スポーツレクリエーション

忍者のまち「伊賀」から日本へ届け！

私たちの学校がある伊賀市は「忍者のまち」として全国各地から観光客が集まります。伊賀をPRするために高校生が幅広い年齢層の方々と交流できる取り組みを考えました。

「忍にん体操」を通じて健康の保持増進だけでなく、コロナ禍で人と人とのつながりが希薄化している中で、皆さんが笑顔になり今後の生活を明るく爽やかなものにしていきたいと考えています。

今年は忍にん体操普及会の方々を3回学校へお招きし、指導していただきました。

今後は、学校内の成果発表会や地域の保育園との交流を予定しています。伊賀の文化に触れ広めていくことが私たちの使命だと考えています。



三重高等学校

ダンス部 SERIOUS FLAVOR

ダンスで未来を切り開く!あたいらのダンスで日本を元気に!

私たちは、三重高校の校訓である「真剣味」をもじって「SERIOUS FLAVOR」という団体名で活動しています。(通称:シリフレ)

入部者の7割がダンス初心者という珍しい部活ですが、“ダンスを楽しむ!”という事を大事にし、「チームワーク」はもちろん、「ノリと勢い」や「他校ダンス部にはない独創的なアイデア」を武器に、全国大会等で戦っています。

シリフレの基本的な活動は以下の3つです。

- ・全国大会に繋がるような「コンテスト・大会への挑戦」
- ・学園祭、オープンスクールなどの「学校行事での発表」
- ・地元のお祭りや、幼稚園や小学校でダンスを披露させて頂く「地域での活動」

頂いたご依頼は全て断らずに引き受けるという「若手芸人スタイル」でバシバシ活動しています。他にもアーティストのバックダンサーや、テレビ出演など、様々なメディアでも活動させて頂いています。

最近では、企業様とのPR動画を企画・振付・撮影・編集まで全てシリフレが行うというご依頼が頻繁に入るようになり、ご好評いただいています。

わたしたちのアイデアや青春を感じる爽やかなダンスが、企業様と高校ダンス部を結ぶ新たな架け橋になると考え、応募させていただきました。



三重県立相可高等学校

農業クラブ

原点回帰で取り組む伊勢茶プロジェクト

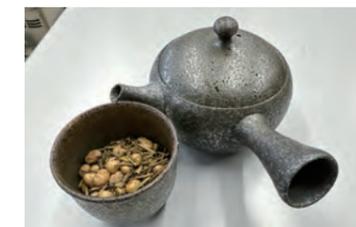
三重県は明治の頃、お茶の生産が全国1位でした。しかし、生産量は減少し現在第3位となっています。また、伊勢茶の知名度についても低く私たち三重県民としてはとても残念です。そこで、相可高校農業クラブでは伊勢茶の普及を目指すために地域の企業や団体と協働し新しい商品開発に取り組みました。

取り組む方法についても昨年度の全国高校生SBP交流フェアを運営中、感じたことを参考にSBPの原点に戻ってプロジェクトを進めました。

このプロジェクトで2つの新商品を開発することができました。1つ目は「まめ茶」です。この商品は相可高校で栽培している宇宙大豆を伊勢茶にブレンドすることで今までにない商品が完成しました。ぜひご賞味ください。

2つ目の商品が「お茶の実オイル」です。耕作放棄された茶畑でお茶の実を拾い集めて圧搾、抽出し開発した良質のヘアオイルです。

私たちの取り組みを今回のSBP交流フェアでご紹介したいと思います。



三重県立松阪商業高等学校

松阪商業高校SBP

現代の松阪商人になる! ~つくる・つながる・まなぶ~

松阪商業SBPは、6年半前、松阪商業高校がSBP活動を担っていくために設立された同好会です。設立当初は7名で活動し、現在は10名で活動しています。

松阪商人を輩出した松阪市にある松阪商業SBPは、『現代の松阪商人になる!』という目標を掲げ、「つくる」、「つながる」、「まなぶ」、の3つを活動の柱として、地域の特産品を活用した商品開発や県内外の様々なイベント活動に参加して、松阪地域のPR活動を行っています。

中でも、昨年度より重点的に取り組んできたことは、セレクトギフトのリニューアルです。

新型コロナ禍後の地域振興を見据えた社会情勢の変化に対応するため、松阪地域で活躍する企業のPRと来客誘致を目的に、松阪市地域ブランド課や松阪市内企業の協力を得て制作しました。松阪商業SBPは、今後も松阪地域の活性化に貢献できるように、様々なイベントや事業に取り組んでいきます。



三重県立相可高等学校

食物調理科 調理クラブ

めざすは「食のプロフェッショナル」!



相可高校食物調理科では、「食のプロフェッショナル」に求められる「技術力」「経営力」「商品開発力」「コミュニケーション力」「グローバル力」の「5つの力」を3年間で学びます。

本年(2023年6月17日)、三重県志摩市で開催の「先進七カ国(G7)交通相会合」においては、出席された各国の閣僚や関係者らに私たち相可高校食物調理科も地元産の魚などをネタにした握り寿司をふるまい、大好評をいただきました。

また、高校生レストラン「まごの店」は総合的な「食」の技術習得、発信の場であり、三重県産の食材を中心にオープンキッチンで調理することで、「食の安心・安全」、「トレーサビリティ」、「地産地消」をねらいとしたレストランです。

活動の主体は「調理クラブ」で、開店以来、毎営業日には、いつも満員の大繁盛で、生徒たちが約30人体制で交代して運営を行っています。

献立は、季節の食材をてんぷらや煮しめにした「花御膳」と、地元多気町産の伊勢いもを練り込んだとろろ麺が名物の「まごの店定食」、地域の名産松阪牛を使った「松阪牛すき焼き茶漬け定食」、尾鷲特産の真鯛をごま醤油に漬けた「尾鷲の真鯛茶漬け定食」など地元食材をふんだんに使った料理を提供しています!

ぜひみなさん、一度食べに来てくださいね!

三重県立紀南高等学校

防災きにゃんプロジェクト

防災きにゃんプロジェクト～地域とともに～



三重県の最南端に位置する紀南高校は、「年中みかんの取れる町」御浜町にあります。コミュニティ・スクールとして地域の方に支えられ、今年創立 62 年目を迎えました。これまで、本校のマスコットキャラクターである黒猫の「きにゃん」と白猫の「きにゃこ」をイラストに入れたお菓子やキャッチフレーズの「しんじろ！ちから」をデザインしたオリジナル T シャツを地元企業・団体の皆さんと一緒に開発・販売してきました。

今回は、「防災・減災・復旧・復興」をキーワードに、非常持ち出し袋『防災避にゃんセット～一緒に避にゃんしよう～』を企画し、多くの協賛品を集めて販売し、収益を上げました。今年 3 月には BS ヨシモト「ワシんとこ・ポスト」に生出演して、この取組を紹介し、私たちのテーマである「震災で悲しみを抱える人をつくらぬまちづくり」をアピールしました。売り上げは御浜町に寄付し、今後は津波避難場所への案内板の作成に取り組んでいきます。



大阪府立鶴見商業高等学校

地域連携プロジェクト

2025 年！集まれ大阪に！
私たちにできる「いのち輝く未来社会のデザイン」を！



本校は、1990 年「国際花と緑の博覧会（花博）」の開催地で有名な「鶴見緑地公園」に隣接した緑豊かな商業高校です。私たち「地域連携プロジェクト実行委員会」は、「鶴見区を元気に！大阪を元気に！」をモットーに、商品開発・販売実習を中心に活動をおこなっています。

現在までに、地元の商社・スーパー・メーカーと協力して、炭酸飲料の開発・販売や、大阪市鶴見区役所のマスコットキャラクター「つるりっぶ」とコラボした LINE スタンプの制作をおこないました。

また現在は、2025 年大阪万博に向けて活動中！また本校は「EXPO 教育プログラム」のモデル校として、現在 3 年生全員で SDGs の観点から私たちにできる取り組みを考えています。OBOG もまだまだ活動中です！

今年も鶴見区名物「つるりっぶパン」を販売します！また先輩の代から 6 年間引き継ぐこだわりのドリップコーヒーもご賞味あれ！



京都府立海洋高等学校

食品経済コース

高校生レストラン 様々な手法でおもてなし！

この 3 年間はコロナ禍で様々な規制があり、地域の方々との交流も少なかったです。

活気がなくなってきた地元を何とかしたいという思いで、昨年度より月 1 回の高校生レストランを復活させました。地元の方々を中心に来ていただけるお客様が増えてきています。

さらに、地元の食材を使った商品開発も行い、各種のコンテストに応募し、毎年入賞をしています。

入賞作品については、高校生レストランで販売し、好評を得ています。

地元を高校生の力で活気づけたいという思いで今後も活動していきたいと思えます。



関西インターナショナルハイスクール

OtoOne (おとわん)

飛び立て OtoOne! ～ゼロからイチへ～

こんにちは！私達は大阪府阿倍野区の常盤地域を中心に「高校生が英会話を行う」というボランティアを行っています。

設立理由は私たちの学校を知ってもらいたいこと、地域との交流を深めたいこと、地域貢献を学校の特色と結び付けたいことにあります。そこで学校の特色を活かした英会話で地域との関わりを深めています。

私たちの名前 (OtoOne) に込めた意味は、地域とのかかわり、特色の発揮、身の回りのことをすべてゼロからイチへとすることです。

現在は地域で行われているイベントのお手伝いやブース出展を行っており、育徳園という場所で週二回英会話をしています。

また毎週木曜日の朝は常盤区域内の通学路であいさつ運動を行っています。朝は通勤通学で交通量が多いので、地域の方々や子ども達が安心して通行できるよう交通安全運動も行なっています。



和歌山県立神島高等学校

商品開発プロジェクト「神島屋」

梅の魅力を伝えたい
～「梅ぼし星」で梅干しにねがいを～

本校は和歌山県南部に位置し、大正5年に田辺実業学校として発足してから今年で107年目を迎える学校です。学科は経営科学科と普通科の2学科があります。平成24年度より、経営科学科における課題研究として「商品開発」の講座を設け、地域にある唯一の商業学科として、特産品である「梅」の消費拡大に協力できるように、「梅」を用いた商品開発に取り組んでいます。また、開発した商品は「神島屋」として、地域内外の様々なイベントで販売しています。

10年以上続けてきた「紀州南高梅」をPRする活動では、地域内外で年間に20,000袋以上を販売する「梅あられ」や、イベント販売で大人気となっており年間に40,000本以上販売している「梅やきとり」など、梅を用いた人気商品もありますが、梅干しそのものを商品開発するのは今回が初めてになります。願いを込めて梅干しを贈り・梅干しを食べるといったコンセプトで高校生が企画・開発した「梅ぼし星」を是非、お楽しみください。



佐賀県立伊万里実業高等学校

フードプロジェクト部

今こそ集え食のチカラ！
地域で創る伊万里サステナブルシティ計画

地産地消の推進・食品ロス削減・食育活動の推進を目標に活動しています。地域一人ひとりが参加できる食循環システムと持続可能なまちづくりの構築を目標とし、規格外農産物を活用した商品の開発・販売や、令和3年度よりNPO法人と共同で立ち上げたフードドライブを継続的に実施しています。今年度は食育の推進にも力を入れ、新たな企業との共同開発商品を地域の児童クラブへ寄付する取り組みや、地域での子ども食堂の立ち上げを計画しました。現在伊万里市では子ども食堂を運営している団体はなく、高校生が運営する初の取り組みとなります。フードドライブで地域のみなさんから寄せられた余剰食品や企業から譲り受けた規格外食品を活用し、ただ食事を提供するだけでなく、SDGsに関する講座を盛り込んだ「学びのkids レストラン」を7月より開始しています。



愛媛県立宇和島東高等学校、愛媛県立北宇和高等学校、愛媛県立宇和島水産高等学校

一般社団法人マツノイズムプロジェクト

高校生でまちのプロデューサーやっとなるけん！

私たちの住む松野町は人口約3700人の愛媛県で規模が一番小さな町です。そんな松野町は「森の国」と呼ばれており、その名の通り、総面積のうち84%が森林です。松野町は高知県との境に位置しており、旅人の多くがこの松野町で旅の疲れをとっていました。その名残として松丸街道があります。かつて松丸街道には宿屋や商店が立ち並んでいましたが、今現在その賑わいは昔ほどありません。また、松野町にもかつて高校はありましたが、現在では松野町に高校はありません。それでも、高校生はいます。その高校生が松野町の賑わいを再創出するために、一般社団法人マツノイズムプロジェクトを今年の春立ち上げました。自分たちの活動は、地元の高校生が地元を舞台にふるさとを活性化していくという活動です。「この町が50年後、100年後、果たして残っているのか。」私たちが「ふるさと」といえる場所を残すために、総合的に町の課題解決を高校生から考え、町の未来をプロデュースしています。



熊本県立天草拓心高等学校

天草拓心高校SBP部

新たな力（絆）で、天草の魅力を全国へ！！

天草拓心高校SBP部は今年で発足5年目となり、昨年度から部活動として活動しています。私達の住む天草は、海に囲まれた歴史と文化のある自然豊かな場所です。近年は、少子高齢化と過疎化が進んでいると問題視されています。そこで、私達のような高校生が天草に残りたいと思える場所にするために、精一杯活動を行っています。現在、晩柑フルーツソースと晩柑塩の開発、防災用非常食の改良に取り組んでいます。晩柑は、熊本県河内町発祥の柑橘類で、酸味と甘みのバランスが良く食べやすいです。このことを知ってもらうために、三重県立相可高校と共同で晩柑フルーツソースと晩柑塩の開発を行っています。また、先輩方が開発されたあまりん焼きに晩柑フルーツソースを活用できたらと思います。防災用非常食は、三重県立南伊勢高校と共同で開発しました。しかし、天草の郷土料理である「せんだご汁」のだご（団子）が溶けないという問題点がでてきました。そこで、だごが溶けないようにするための方法を地元企業様のお力をお借りしながら、見つけていきたいと思っています。私達は全員1年生で経験も浅いですが、一人一人の個性を生かして頑張っていきます。



沖縄県西原町

NS²BP (西原町学生ソーシャル
ビジネスプロジェクト)

あきさみよー (あらまあ) まだ 西原町しらんわけ~?

私たち NS²BP (エヌエスピービー) 「Nishihara Students Social Business Project」は、西原町を愛する高校生たちが活動している団体で、発足 10 周年の節目を迎えます。

今年度は県内 13 校から集まった 41 名の高校生が、地域各種団体をはじめ、地元企業、NS²BP 卒業生の助けも借りながら日々元気に活動しています。

主な活動として、商品開発、国際交流、地域ボランティア、創作演劇など、様々なプロジェクトに取り組んでおり、その活動はすべて「高校生だけ」で企画・運営・開発・活動費の調達などを行っています。

私たちのまち西原町は、かつて沖縄県内でも有数のさとうきび産地で、製糖工場が 2 力所あり、黒糖の生産で栄えました。その伝統をふまえ西原町産のさとうきびのしぼり汁 (サーターユー) を活用した「万能! サトウキビから取っタレ!」を開発し販売まで至っております。このタレは国産のしょうゆ、りんご、にんにく等を加え、甘みには西原町で収穫されたさとうきびのしぼり汁 (サーターユー) を使用しており、黒糖の持つ自然の甘みと風味が特徴のタレに仕上がっており、さらに、人口甘味料や保存料、香料、着色料は一切使用していない手づくりだれとして大変ご好評いただいております。

今回は限定販売を行いますので、みなさま是非「万能! サトウキビから取っタレ!」をご購入ください!!



青森県立青森中央高等学校・浜松学芸高等学校

学校紹介動画制作プロジェクト

学校紹介動画プロジェクト 今、始まる…

2022 年 8 月に五所川原市で行われたイベントでの交流をきっかけに、青森中央高校と浜松学芸高校の学校紹介動画協働プロジェクトがスタートし、2023 年 3 月、2 本の動画を制作することができました。

これはお互いの地域が抱える人口減少や高校の統廃合が進行している現状を目の当たりにし、地域を持続させるのと同じように、学校も存続し続けなくてはならないと考えたからです。

当日は 10 回を超えるリテイクを重ねて、ようやく成功することができましたが、何よりもメンバーで互いに協力することが重要だと気付くことができました。学校間の協力という、なかなか本心から打ち解けるまで活動できることが少ないと感じていましたが、今回、私たちは手応えを感じ、本当に忘れられない時間になりました。

今後も私たちの想いを発信していきたいと思っていますので、よろしくお願いします!



沖縄県立宮古総合実業高等学校

地域活性化 SHARK プロジェクト

~「0 から 1 へ」地域活性化を目指す新ビジネス~
「みゃーく SHARK プロジェクト」

私たちの高校は、水産・農林・福祉・商業と、それぞれが専門の知識や技術を深め、生産から製造・販売までの 6 次産業型教育を可能とする、全国でも珍しい高校です。それぞれの専門スキルを横断的な学習で繋げ、互いに連携し合っている高校です。

今回私たち商業科は、補助金により駆除・廃棄されているサメを、地域の新たな観光資源として活用しようと考えています。「見る・撮る・食べる・作る・学ぶ」を含んだサステナブルツアープランの実現を通して、サメ事業のブランド化を目指します。

県内では取り扱っていないであろうプロジェクトに挑戦する高校生と一つの小さな漁業協同組合。「まずはやってみよう」、そんな小さな取り組みですが夢は大きく。『必要なのは、才能じゃない。「始める勇気」だ。』と、ある著書に載っている言葉の通り、始めなければ前に進むことはできず、失敗しないと成功もしません。

組合と連携して運営していくことで地域活性化・地域貢献を目指し、今ここに新ビジネスに向けての挑戦が始まります。



青森県立青森中央高等学校

あすなるクラブ

みんなにキュンを届けよう♡



あすなるクラブは今年度から同好会として活動しています。

浜松学芸高校との活動等を通し、技術、経験も大切ですが、仲間と協力することも大切だと実感しました。

今後はクオリティを高めてポスター化を予定しています。

撮影や web 会議、イベント等で他校との交流を深め、関係人口を増やすとともに活動の幅を広げていきたいです!



長野県立飯田高等学校

南信州みらい創生塾

リニアがとまる南信州の未来に向けて、まちづくりに挑戦!



飯田高校の魅力は、「いじめのない愉快な仲間」「個性豊かな先生たち」「自由な校風」でしょう。先生たちの個性溢れる授業はとても楽しく、制服もないこともあり、毎日ラフな雰囲気です。南信州地域はリニア開通を控えています。SBP 交流フェアで多くのことを学び、未来の地域づくりに役立てたいと思っています。

皇學館高等学校

皇學館高校 SBP 班

地域の課題探究に取り組んでいます！



本校は皇學館大学の附属校で、進学コース・特進コース・六年制コースの3コースからなる普通科高校です。そのうち進学コースは2年生進級時に

「国公立系・教育系」「私大進学系」「医療看護系」「進学理系」の各系統に分かれ、それぞれの進路目標に応じて、キャリア・プログラムに取り組んでいます。中でも「私大・進学系」のプログラムの大きな柱として、学校所在地である伊勢市が抱える課題を発見し、自分たちで探究し、解決策を提案したり、ボランティア活動に参加したり、地域一体となった活動に取り組んでいます。今回は全国の高校生の取り組みを見学し、これからの活動に生かしたいと思います。

三重県 津田学園高等学校・三重高等学校

高校生みえ創造サミット2022チーム

三重県の高校生が集まり地域の探求活動を実施！



私たちは、昨年開催された高校生みえ創造サミットに各チームとして参加し、チームで人口減少や産業、防災などについて探究・成果発表を行いました。

これらの探究の中、フィールドワークやアンケートを通して地域と人の繋がりを学び、SBPに取り組む高校生たちと交流をしました。また自分たちの知識や経験を増やすこともできて、貴重な体験になりました。

今回このSBP交流フェアにスタッフとして参加して、自分たちと同じ高校生の活動をサポート出来るよう、精一杯頑張りたいと思っています。また、高校生の頑張りを肌で感じ、新たな発見や学びが得られるのがとても楽しみです。よろしくお願いします！

三重県立南伊勢高等学校

度会校舎

「プロジェクトマッピング」から始まる SBP 活動



南伊勢高校度会校舎は、「プロジェクトマッピング」に力を入れており、動画作成、上映を中心に活動を行なっています。YouTubeにおいても作成したプロジェクトマッピングを視聴できます。是非ご覧ください！

南勢校舎と今年度は運営側でお手伝いもしております。度会校舎の活動を今後ともよろしく願い致します！

三重県立南伊勢高等学校

南勢校舎

ふるさとを愛し続けた私たち高校生ができること



南伊勢高校南勢校舎は、全国で最初のSBPが発足しました。発足して今年で11年目という節目の年を迎えます。私たちの活動が全国にも広がっていることが非常に嬉しいです。今年度の私たちは「まとめ活動」として、「ふるさとを愛し続けた私たちにできること」をテーマに、発表や運営など様々なことに取り組んでいきます！

三重県立昴学園高等学校

昴学園SBP

「大台町」から魅力発信！



本校には、総合学科として特色ある5つの系列があります。

本校がある大台町は、ユネスコエコパークに登録されている町ですが、過疎化、高齢化等の地方問題を抱えています。地方の問題解決が日本の発展につながると考え、地域の方と共に課題解決に取り組んでいます。

今後取り組みを深め、来年にはアワードに参加し、皆さんと交流出来るように頑張っていきます。

三重県立伊勢工業高等学校

美術部 SBP 班

メンバーが増え活動に変化



伊勢工業高校で美術部と並行して活動している美術部SBP班です。

去年と一昨年は1人で活動に参加していたため、できることが限られていました。しかし、今年は新たに一年生が2人加わり、3人での活動となり出来ることが増えました。

今回の交流フェアの賞状をデザインさせていただき、その他にも今年は一年生も活躍できる活動があるため、頑張っていきたいです。

交流フェアではスタッフとして参加し、現地に來れる多くの学校のサポートをしていきたいです。よろしくお願いします。

佐賀清和高等学校

文化教養科 SBP

SBP を取り入れた授業を実施しています！



佐賀清和高校は佐賀県にある私立学校です。明治44年の創立以来、受け継がれる伝統として「和顔愛語」を実践目標として生徒たちは明るい笑顔と思いやりのある優しい言葉遣いで、礼儀正しい生活を心がけています。

SBPの取組に興味を持ち、現在SBPの考え方を取り入れた授業を1年生にて通年で実施しています。今回は見学で参加させていただき、他校の取組について学びたいと思います。

熊本県立牛深高等学校

Team・UHS

夢をかたちに！個性をちからに！



牛深高校は熊本県天草市の最南端にある普通総合学科の学校です。

2・3年次の「総合的な探究の時間」で地域課題解決のための探究活動を行っています。

天草・牛深を盛り上げていくために日々奮闘中です。今回は2・3年次の代表生徒で参加させていただきます。

皆さんの取り組みを見学し、たくさん勉強させてもらいたいと思います。

日々と受け継がれてきた伝統や文化、豊かな自然に育まれた伊勢志摩という地でさまざまな人々と触れ合い、地域の課題に向き合っていく。果敢な視点と丁寧な姿勢で、もともとあるものを大切に守りながら、未知の力を発見し、新しい価値を生み出していく。それが、これからのわたしたちの役割だと、地域の課題で気づくことができました。この職を覚え、覚えていくことから、日常を元気にしたい。そんな将来を思い描めるようになった。大らかに、深く、柔らかく、温かく、熱い。伊勢志摩という教科書は、いつもわたしたちにも多くのご縁をくださる。

伊勢志摩、という教科書。

皇學館大学 皇學館高等学校 皇學館中学校
三重県伊勢市神田久志本町1704 TEL 0596-22-0201 (代表) <https://www.kogakkan.ac.jp>

お客様に必要とされる会社を目指して
Inside Brain

印刷 広告 ホームページ 動画

株式会社 アイブレイン
本社 〒516-0017 三重県伊勢市神久3丁目5-67
TEL 0596-27-1111 FAX 0596-23-0125
<http://IBRAIN.mie-net.ne.jp>

SYD
みんなの幸せを願う「幸せの種まき運動」を全国的に展開しています

SUPPORTING YOUR DREAMS

SYD 伊勢青少年研修センター
伊勢市宇治今在家町 153
TEL 0596-25-0265
FAX 0596-25-0309
HP <https://syd.or.jp/ise/>

ZURICH
チューリッヒ生命

〒164-0001
東京都中野区中野4丁目10番2号 中野セントラルパークサウス16階
電話(代表): 03-6832-1101

伊勢名物 赤福

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地
電話 0596-22-2154(代) 7か-7代 0120-081-381
<https://www.akafuku.co.jp>

心、おどる、デジタル

Adobe

十和田の野菜がおいしいコミュニティカフェ

ハピたのがあえ

(特) 十和田NPO子どもセンター・ハピたの
青森県十和田市稲生町16-43 Tel/FAX 0176-23-0853
～地域で子どもを育てよう～

NARUMI
いいもの、いつも、いつまでも

鳴海製陶株式会社
〒458-8530 愛知県名古屋市中区鳴海町伝治山3番地
Tel.052-896-2200

三重ナルミ株式会社
〒517-0218 三重県志摩市磯部町家地 1524-1
Tel.0599-55-2113

NARUMI Factory Shop
営業時間 10:00 ~ 16:00 (土・日曜日も営業)
Tel: 0599-55-3637

ワクワクする毎日を。

ENCHANTÉ
株式会社アンシャンテ
〒510-8034 四日市市大矢知町 1425-6
TEL 059(361)2040 FAX 059(363)3569

NT GROUP

エヌティーテック株式会社
〒444-1314 愛知県高浜市論地町五丁目1-10
TEL.0566-52-0020 FAX.0566-52-5303

エヌティーツール株式会社
〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10
TEL.0566-54-0101 FAX.0566-54-0111

エヌティーエンジニアリング株式会社
〒444-1335 愛知県高浜市芳川町三丁目3-21
TEL.0566-52-0015 FAX.0566-52-4148

エヌティー精密株式会社
〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10
TEL.0566-52-5173 FAX.0566-52-5191

NEXCO 中日本サービス株式会社
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-4-18 岡谷鋼機ビル5F
☎052-222-9991 <https://c-nexco-svc.jp/>

BSよしもと
- BS265ch -
テレビでもスマホでもPCでも
無料でBSよしもと!
絶賛放送中!!

bsy.co.jp

今までも、これからは。 私たちができること。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

英語で聞き放題・読み放題
コスモピア eステーション

コスモピア株式会社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 4-36-4 MC ビル 2F
tel: 03-5302-8379 fax: 03-5302-8399

◆コスモピア eステーション: <https://e-st.cosmopier.com/>
◆子ども英語ブッククラブ: <https://kids-ebc.com/>
◆eステ Kids: <https://e-st.kids-ebc.com/>
Facebook: <https://www.facebook.com/CosmoPier> Twitter: @CosmoPier

人と地域に寄り添い、同じ未来を見つめる銀行。

お気軽にご相談ください。
《資産運用・住宅ローン・ビジネスローン》

百五銀行
FRONTIER BANKING
インターネットホームページ <https://www.hyakugo.co.jp/>

調査業務 コンサルティング業務 会員制度 主な定期刊行物

幅広い分野で、お客さまのニーズにお応えします。

HRI 株式会社
百五総合研究所
TEL.059(228)9105 FAX.059(228)9380
URL <https://www.hri105.co.jp/> E-mail info@hri105.co.jp

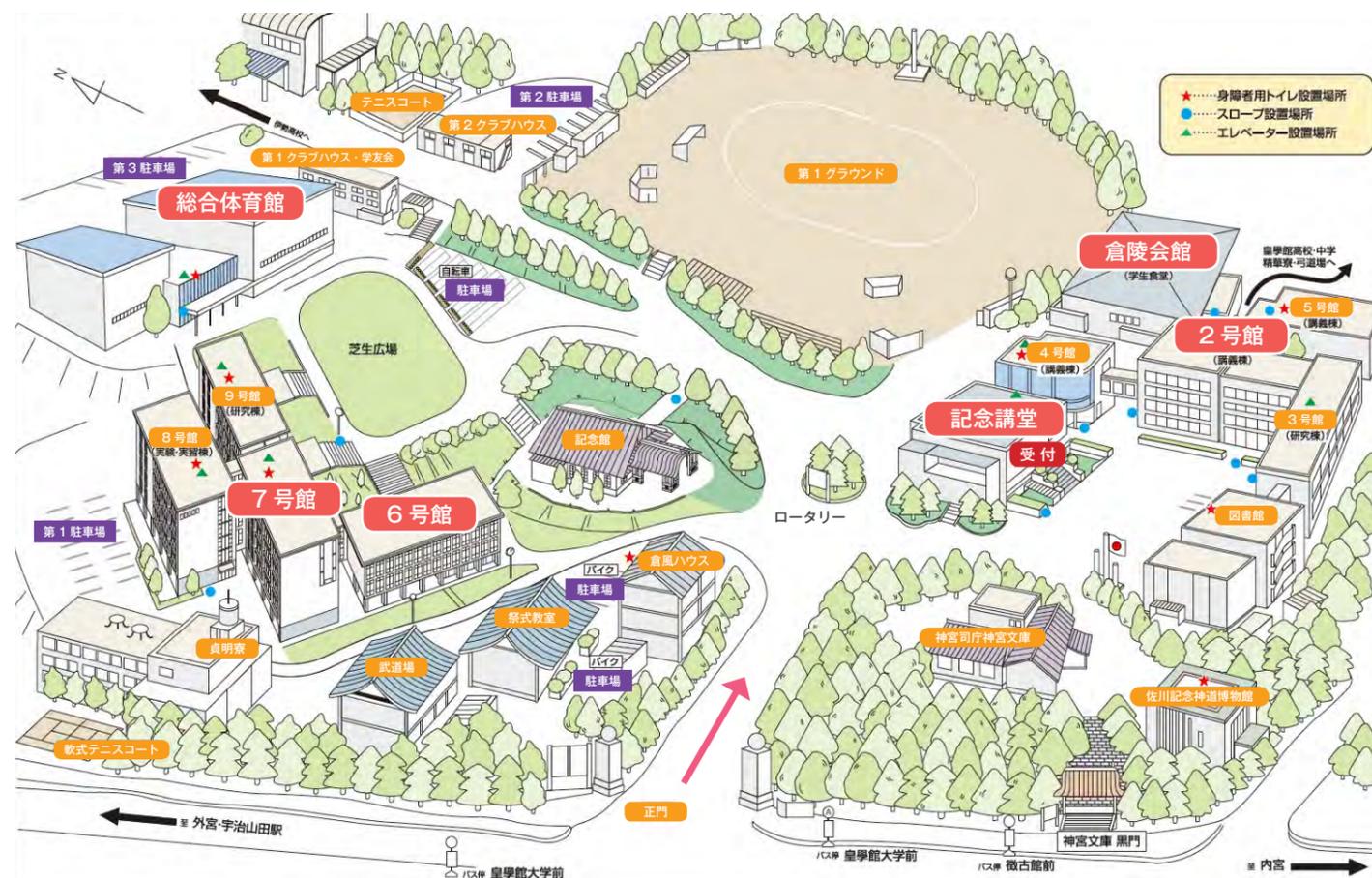


「新しいあたりまえ」で、
新しい世界を創る



富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン(株)
〒514-8578 三重県津市栄町 1 丁目 817 番地
TEL 059-228-7561

会場 MAP



記念講堂

8月19日(土)
ロビー
○受付
講堂
○プログラム 2 開会式
○SBP アワード決勝

8月20日(日)
ロビー
○受付

講堂
○表彰式
○プログラム 2 閉会式

総合体育館

8月19日(土)
実践発表交流会
○メインステージ
○出展ブース①~⑬
○本部席・休憩席

倉庫

8月19日(土)
学生食堂
○審査員控室
○夕食会場

8月20日(日)
学生食堂
○WS1 (わらしべ提供)
○昼食会場
○プレゼンターと受賞団体の交流

6号館

8月20日(日)
2F 622 教室
○大人向け SBP セミナー
○審査員控室
3階 631 教室
○表彰式
○WS 8 (アドビ提供)

7号館

8月20日(日)
1F 711 教室
○WS2 (アイブレン提供)
1F 712 教室
○WS6 (鳴海製陶提供)
2F 721 教室
○WS4 (津NPOサポートセンター提供)
2F 722 教室
○WS5 (アンシャンテ提供)
4F 741 教室
○WS3 (皇學館大学提供)
4F 743 教室
○WS7 (国土交通省中部地方整備局提供)

お父さん、秘密基地
欲しいんでしょ?

コンテナ・トレーラーハウス専門店
『KAKUREGA』

見方をかえると、
未来が見えてくる。

0→1
MAKE IT HAPPEN

三井化学
www.mitsuichemicals.com

IT × 教育で地域を「元気」に。

地域活性をITとデザインで支援
地域課題へのIT技術の活用 / システムエンジニア研修・プログラミング教育

みらいこ株式会社
〒516-0074 三重県伊勢市本町8-11 info@miraico.co.jp

味にまじめ
素材にまじめ

わらしべ

これまでのSBP協賛企業様一覧 (50音順です。)

株式会社赤福、株式会社アクアイグニス、アサヒビール株式会社、株式会社アイブレン、アドビ株式会社、株式会社アンシャンテ、イオンリテール株式会社東海長野カンパニー、株式会社いち、有限会社壹貳参、伊藤忠製糖株式会社、特定非営利活動法人植える美 ing (ウエルビーイング)、株式会社魚国総本社三重支社、株式会社うすけ、エイチ・エス・アシスト株式会社、株式会社エオネックス、NT GROUP、株式会社NTT ドコモ、株式会社O.R. コーポレーション、相可高校 生産経済科、株式会社相可フードネット (せんばいの店)、株式会社近江兄弟社、株式会社岡井ファーム、社会福祉法人 笠木御所桜会、河武醸造株式会社、株式会社川原製茶、株式会社ぎゅーとら、ギョルメ舎フーズ株式会社、グーグル合同会社、九重味淋株式会社、クラギ株式会社、株式会社グラノ24K、グリコハム株式会社、株式会社ゲイト、コケココ共和国、コスモピア株式会社、公益財団法人修養団、松和自動車学校、株式会社松和産業、有限会社すかや呉服店、瀬古食品有限会社、株式会社セブン銀行、株式会社タイム、多気郡農業協同組合、多気町観光協会、多気町商工会、株式会社チェンジ、辻製油株式会社、株式会社デンソープレステック、国立大学法人東京学芸大学、株式会社トモ、株式会社豊田自動織機、鳴海製陶株式会社、日経三勢会、人源輝業塾、NEXCO 中日本サービス株式会社、万協製薬株式会社、番頭舎、BS よしもと株式会社、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、華為技術日本株式会社 (ファーウェイ・ジャパン)、富士ゼロックス三重株式会社、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社三重支社、株式会社プラトンホテル、合同会社プレシャスコネクション、株式会社ベネッセコーポレーション、株式会社マサヤ、株式会社マサヤグループ本社、マルシェ株式会社、三重県教育工学研究会、三井化学株式会社、三菱商事株式会社、みらいこ株式会社、株式会社レオパレス21、株式会社LOCK、松阪山桜ロータリークラブ、有限会社丸伸西口商店、三重信用金庫相可支店、株式会社ミエライス、有限会社山春商店、ユナイト三重株式会社、ユヌス・よしもとソーシャルアクション株式会社、有限会社わらしべ